

2024年度 市野与進こども園 事業報告

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、すべての子どもの育ちを応援し、すべての家庭に対して支援する「こども誰でも通園制度」が浜松市においても7月から試行的事業として開始しました。子どもにとっては、家族以外の人と関わる機会が得られることや家庭にいただけでは得られない様々な経験を通じて興味関心が広がるほか、保護者にとっても園の職員と関わることで子育てを共有することができ、孤立感、不安感の解消や一定時間子どもと離れ、子育ての負担感の軽減につながることも考えられます。当園でも0歳児及び2歳児で延べ65名の利用がありました。「こども誰でも通園制度」と併せて一時預かり保育の利用も多く、入園に繋げることができています。2024年度は少子化による今後の影響や利用保育室の面積を考慮し10名定員減を行いました。2023年度と同等の在園児数を確保することができました。職員関係で3名の育児休職がありましたが、年度初めに3名を新規採用することができたため職員配置はほぼ予算通りとなりました。

【重点目標及び施策への取り組み】

1. 保育サービスの質の向上

- ①子どもの主体性を尊重した保育について、具体的な保育実践に繋がるよう「目指す子どもの姿」を職員間で共有化を図り、毎月の勉強会で保育実践を報告し合いました。そこでのアドバイスを基に保育を振り返り、保育室の環境や子どもへの関りを見直す機会となりました。子どもの声をよく聴き、表情やしぐさから子どもの思いを受け止め、子ども理解に努め専門職としてのスキルアップに繋げることができました。
- ②発達に偏りがある子どもや既往歴のある子どもに対して、定期的に専門職(心理士、小児神経科医)からのアドバイスをいただくことで、適切な関り方を職員間や家庭とも共有し、個別の保育計画に反映させ統合保育を実践することができました。
- ③園庭のフェンスや木製遊具の老朽化に伴い、危機管理の面からも対応が必要となり修繕を行いました。木製湯具に関しては、子どもの運動機能を高めるため安心して使用できるよう環境を整えることができました。
- ④保護者に携帯アプリを利用し保育の様子や必要な情報を配信したり、懇談会の機会に子どもの育ちについて解りやすく伝え、相互理解を図ることで、保護者が安心して子どもを預けられ、子どもの成長に喜びを感じられるよう努めてまいりました。

2. 職員が働きやすい環境作り

- ①職員が主体となってICTシステム「コドモン」の記録様式の見直しを繰り返して行い、仕事量の削減に取り組むことができました。午睡チェック機能も活用しようと、コドモン提供の午睡センサーをレンタルし検証しましたが、感知能力が低く実用には至りませんでした。その為、ルクミー(ボタン式センサー)を再契約いたしました。
- ②家庭の都合等で突発的な休みや急遽の早退への対応も主幹保育教諭を中心に、チーム保育を意識し、協力体制をとることができました。多少余裕のある人員配置によって安心して働く事に繋がっております。
- ③休憩場所と育児相談等の多目的室として園舎北側の駐車場スペースに増築を検討しておりましたが、年度末に着工することができ2025年7月末に完成の予定となりました。

3. 人材確保と育成

- ①新規採用で3名の職員を採用したことで、年度途中で複数名の職員が産休を取得することができました。今後は育児のための時短勤務職員の増加が見込まれます。また、当園は男性職員が多く、それぞれが経験を積み、やりがいを感じ自信をもって保育に取り組んでいます。今後も保育の資質向上と維持を図るためにも、職員の定着化と新たな人材確保が必要だと考えます。

- ②人材の確保に向けては、実習生の受入れを積極的に行うと共に、就職説明会等に若手職員を参加させ、保育の楽しさややりがいを学生に直接伝えることで、年齢の近い職員に気軽に質問ができ、職員自身も先輩職員としての自覚やモチベーションアップに繋げることができました。
- ③キャリアアップ研修に計画的に参加することで経験年数に応じた専門性の向上に努めました。また、法人内研修に参加することで、組織の中で求められている事柄の意識化に繋がっています。

4.「地域における公益的な取組」を含む地域貢献活動の充実

- ①地域の子育て中の保護者を対象に、「離乳食講座」「ベビープログラム」「園庭開放」「親子ひろば」を実施し育児不安の解消や入園に向けての情報提供等を行うことができました。
- ②地域の方の定期的なボランティアや中学生の保育体験の受け入れを行い、環境整備を含めて保育現場を体験してもらうことで、保育士の仕事内容の奥深さを伝えることができました。
- ③地域の老人会「いかまいかい」の集いに5歳児が参加し、歌やダンスを披露し交流の場を持つことができました。子どもたちは地域の方からも大切にされていることを実感しました。
- ④5歳児は近隣のこども園・幼稚園や小学校との交流を通して、就学に向けて期待が膨らみました。
- ⑤近隣の協働センター改装工事のため、第2、第4土曜日にNPO 法人サステナブルネットに西側駐車場をお貸しして「ひとり親家庭のためのこども食堂」を開催しました。

【園児数実績】

<人>

定員	2.3号 1号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	平均
5歳児	32	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
4歳児	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31
	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1.9
3歳児	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2歳児	28	29	30	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29.2
	2	0	0	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	2.1
1歳児	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	25.9
0歳児	21	12	14	14	15	15	16	17	17	18	19	20	20	16.4
合計	181	166	169	170	170	171	173	174	174	175	176	177	175	172.5

【一時預かり事業実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	10	20	25	18	19	31	32	33	21	17	27	257

【親子ひろば実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13	15	14	33	9	17	24	19	19	24	30	15	232